ケイヒ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は，通例，半管状又は巻き込んだ管状の皮片で，厚さ 0.1～0.5cm，長さ 5～50cm，径 1.5～5cm である．外面は暗赤褐色を呈し，内面は赤褐色を呈し，平滑である．破折しやすく，折面はやや繊維性で赤褐色を呈し淡褐色の薄層がある．

本品は特異な芳香があり，味は甘く，辛く，後にやや粘液性で，わずかに収れん性である．

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，一次皮部と二次皮部はほとんど連続した石細胞環で区分され，環の外辺にはほぼ円形に結集した繊維束を伴い，環の各石細胞の細胞壁はしばしば U 字形に肥厚する．二次皮部中には石細胞を認めず，まばらに少数の厚壁繊維を認める．柔組織中には油細胞，粘液細胞及びでんぷん粒を含む．放射組織中には微細なシュウ酸カルシウムの針晶を含む細胞がある．